



学校だより **本荘** Smile

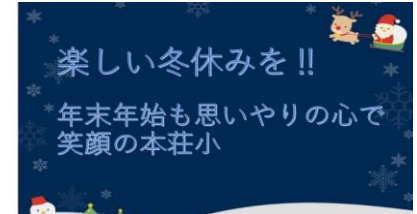
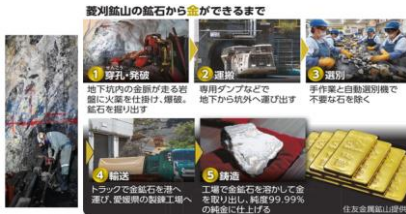
2024

令和6年度 第41号
令和6年12月26日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

2学期の終業式で話したこと「玉磨かざれば光なし」について。



金 きん



この学校だよりは、12月24日の終業式当日に配付する予定でした。しかし、悲しい出来事やそれに負けない子どもたちの集いなどがありまして、バタバタしていたことと、校長自身が心の整理ができないままでしたので、2学期中にご家庭にお届けすることができませんでした。つきましては、冬季休業中ですが、まずはメール添付の形で今年中にお届けしようと考えた次第です。(紙媒体は新学期にお配りいたします。)ご理解の上、お読みいただければ幸いです。(以下本文)

長い2学期が終了しました。12月24日は終業式でした。子どもたちは、冬休みを楽しみにしながら帰っていきました。各学級担任からは2学期最後の学級通信が出されておりました。新年、そして、3学期に向けての担任からメッセージが込められていますので、親子でしっかりと読んでいただければと思います。よろしくお願い致します。この日は、終業式とはいえ、4時間授業でしたので、体育館をストーブで温めて、2時間目に終業式を行いました。校長先生の話では、最初に「今年の漢字一字」のお話をしました。皆様にとっては、どんな漢字が令和6年の漢字だったでしょうか。

話の冒頭に『今年の世相を表す「今年の漢字」が京都の清水寺で発表され、「金」(キン・かね)の文字が選ばれました。「今年の漢字」は、京都市に本部がある「日本漢字能力検定協会」がその年の世相を表す漢字ひと文字を一般から募集し、最も多かった字が選ばれます。(詳細は「虫眼鏡」に掲載しています。)'「金」が選ばれたのは、2021年以来、5回目です。「金」の字が選ばれた理由としては、パリオリンピックやパラリンピックに出場したアスリートが数多くの金メダルを獲得したほか、大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど値千「金」の活躍だったことなど、光をあらわす「金(キン)」と政治の裏金問題や金目当ての闇バイト強盗事件、止まらない物価高騰など、影をあらわす「金(かね)」の両方の意味を示しているということです。』という話をしました。そこで、子どもたちには、「金」がどのようにして美しい金塊になるのかを問いました。6年生の秀歌さんは、金鉱石を発掘して集め、溶鉱炉で溶かして精錬し、型にはめて冷やして金塊ができるということ、ずばりと解説してくれました。驚きました(笑 本人曰く、テレビの特集で学んだそうです。)

「金」は最初から美しいものではなく、いろいろな苦勞や多くの人たちの手間や努力によって、最初は岩だったものが、きらびやかなものへと変身していくのだということを語りました。(裏面へ)

そして、「玉磨かざれば光なし」という言葉を紹介したのです。「生まれつきどんな才能を持っていても努力をして磨かなければ、本当に立派な人にはなれないよ。きれいな宝石や金塊も出来上がるまでに、しっかりと労力をかけて磨かなければ美しく輝くことはできないのです。冬休みは自分を磨くチャンスです。学習、お手伝い、家族と仲良くすること、やるべきことがいっぱいありますよ。ぜひチャレンジしてくださいね。」と伝えてあります。しっかりとがんばってほしいものです。

新しい年は巳年です。個人的には、年男、つまり還暦になります(笑)。年は重ねていますが！子どもたちが、いきいきと学校生活を送ることができるよう全身全霊でがんばりますので、3学期、そして2025年も本校教育へのご理解とご協力をお願いします。(校長)

校長先生の虫眼鏡 2 学期終業式「玉磨かざれば光なし」

令和6年度 2学期終業式

おはようございます。今日で2学期も最後ですね。みなさんにとって2学期はどんな学期でしたかね。今日は、各クラスで学級活動があると思いますが、みんなで2学期を振り返ってみたいと思います。

今年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」が京都の清水寺で発表され、「金」(キン・かね)の文字が選ばれました。「今年の漢字」は、京都市に本部がある「日本漢字能力検定協会」がその年の世相を表す漢字ひと文字を一般から募集し、最も多かった字が選ばれます。1995年から行われていて30回目となる今年は、11月1日から12月9日までに寄せられた22万1900通あまりの応募の中から最も多いおよそ1万2100票を集めた「金」の文字が選ばれました。「金」が選ばれたのは、2021年以来、5回目です。「金」の字が選ばれた理由としては、パリオリンピックやパリオリンピックに出場した日本人選手が数多くの金メダルを獲得したほか、大谷翔平選手が3回目のMVPを獲得するなど値千金の活躍だったほか、「佐渡島の金山」が世界文化遺産に登録されたことなど、光をあらわす「金(キン)」と政治の裏金問題や金目当ての闇バイト強盗事件、止まらない物価高騰など、影をあらわす「金(かね)」の両方の意味を示しているということです。

確かに金というのは美しいですよ。色々な人が、金を欲しがるのでしょう。だってこんなに美しいものから。では、質問です。金はどうやって金になるのでしょうか？木に生るのかな。地球のどこにあるの？いろいろな形があるんだけど？説明できる？(何人かが答える。6年生秀歌さんが詳しく説明。すばらしい！)

実は金には原料、もともになるものがあるのです。これは金鉱石といいます。これが金のもともになる原料なのです。でもさあ、どうやったらこんなゴツゴツしたものが、あんなにきれいな金の塊になるのかな？(画面で資料を提示しました)ここは、菱刈鉱山というところですよ。もともと金鉱石は地下の深いところにあります。その岩に火薬を仕掛け、鉱石を掘り出します。とても危険な仕事です。それをでっかいダンプで外に出します。それを手作業と機械で不要な石を取り除きます。それを高温で溶かしてこのようなきれいな金に仕上げるのだそうです。さっき秀歌さんが言った通りです。つまり、金ができ上がるまでに大変な苦労と人々の力が必要なのです。これは君たちのお勉強や生活にも言えることです。

ことわざで「玉磨かざれば光なし」という言葉があります。生まれつきどんな才能を持っていても努力をして磨かなければ、本当に立派な人にはなれないということです。きれいな宝石や金塊も出来上がるまでに、しっかりと労力をかけて磨かなければ美しく輝くことはできないのです。冬休みは自分を磨くチャンスです。学習、お手伝い、家族と仲良くすること、やるべきことがいっぱいありますよ。ぜひチャレンジしてくださいね。

校長先生にとっての漢字はもちろん「命」です。11月の学校朝会で「いのちの授業」をしました。12月の学校朝会で谷川俊太郎さんのお話をして、命の大事さをもう一度しました。そして、12月16日、本荘小学校の全員にとって大事なお友達が星になっていきました。命の大切さを感じるが大変多かった2024年でした。みなさん、みんなで「命」を大切にしていこう。そして、「命」をつないでいこうね。

明日から冬休みに入ります。冬休みは日本の伝統的な行事や文化がいっぱいです。大掃除、大晦日、除夜の鐘、お正月、初詣、お年玉……。ぜひ、そのような文化や行事にぜひ触れてくださいね。おせち料理にも意味があるので。そして、落ち着いた「和」のある休みを過ごして、3学期の生活に生かしてほしいと思います。

本荘小学校がますます素晴らしい学校になるように、では、3学期にまた会いましょう。年末年始も「思いやり」の心で笑顔の本荘小」でありますように。これでお話を終わります。